

令和3年度第1回 学校運営協議会議事録

1日時 令和3年4月28日(水) 10:00~12:00

2参加者

○学校運営協議会委員

石川 優香 様(現PTA会長) 畑田 麻衣子 様(現PTA役員)
内田 美帆 様(元PTA会長) 浦野 知美 様(主任児童委員)
黒堀 誠一 様(少年野球チーム代表) 田村 裕一 様(少年サッカーチーム代表)
富澤 智代 様(本校放課後子供教室推進委員長) 藤浦 大輔 様(おやじの会代表)
大堀 由紀江 様(公募委員) 下口 千秋 様(公募委員)

○学校職員

浅野 正道 (小金井第一小学校校長) 朝井 貴世 (小金井第一小学校副校長)

3次第

- (1) 開式 10:00
- (2) 校長あいさつ
- (3) 委嘱状交付
- (4) 研修「小金井市立学校におけるコミュニティ・スクールについて」
(指導室、生涯学習課から)
- (5) 3時間目授業参観 10:45 ~ 11:30
- (6) 令和3年度学校運営について他(校長から)
- (7) 協議
- (8) 閉式 12:00

《委員の皆様よりご意見》

- ・対面でのコミュニケーションが苦手な児童は、オンラインの活用により、気楽に取り組み、積極性が出てくるのではないか。そのような、コミュニケーション能力が高まる取り組みがあるとよい。
- ・PCの活用により、逆にコミュニケーション能力が低下しないか。人と人との関わりが薄れがちなか、穏やかだけでよいのか。軋轢も大事ではないかと感じる。
- ・地域未来塾のゴールのイメージを知りたい。
- ・どのクラスも落ち着いて、先生との信頼関係が築かれていると思う。周年行事はこのメンバーが関わることができると心強い。
- ・落ち着いていてよい学校。梅の実学級とくじらぐも教室の違いについて、保護者に向けて理解啓発の説明があるとよい。地域未来塾のゴールについて、具体的な情報が得やすいとよい。
- ・通学路は分散してはどうか。農工大通りはカーブが多いが、連雀通りの方が整備されている。PTA役員として1年でできることは少ないが、能動的に関わるPTAにしたい。
- ・献立のHPアップは継続してほしい。給食委員会、栄養士さんと給食の状況について、食べながらコミュニケーションしたい。今は黙食が普通になり、放送等工夫している。献立の工夫等、各校の取り組みがいろいろある中、一小的取り組みを知りたい。
- ・150周年について、地域全体が盛り上がるよう働きかけ、良い学校をつくること、通いやすい地域をつくる相乗効果を得られるよう、周年の機運が盛り上がるとうよい。小中の連携とスムーズな接続、コミュニティスクールについて、今後、ずっと長い目で見てやっていく

《校長より》

・コミュニティスクールは、今後長い目で見て、進めていく。地域未来塾については、長期的展望をもち進めていく。補習教室等の、平日放課後や夏休み等における学生ボランティアの活用等を考えている。アフタースクールは月一回程度、教員の指導で実施している。

・150周年記念行事は、教職員の周年行事委員会をスタートさせている。

・オンラインでの配信については、動画・教材を準備し、視聴できる環境をつくったうえで、現在もいつでもやれる状況であり、今後状況によって実施する。クロームブックの家への持ちだしは不可である。使い方ルールを配っているが、対策がきちんとするまでは持ち帰り不可。クロームブックは話し合い等で書き込みできる一つの手段となる。子供はICTが能力高い。

・昨年度はコロナによる臨時休校で授業時数不足が心配されたが、その分7時間授業、土曜授業で対応した。今年度は普通に8:40から始業し、金曜は6時間目にクラブを実施、7時間授業は実施していない。

・オンラインの効果については、不登校児童とつながって、学校来られるようになったケースがある。動画は何回も見られる良さがある。

・梅の実学級やくじらぐも教室については、理解啓発のためにも情報発信の必要がある。梅の実学級は特別支援学級（知的固定学級）。くじらぐも教室は特別支援教室で、通常の学級に在籍した上で、くじらぐも教室に通ってきている

・通学路については、現在もすでに、生活指導部とも検討し柔軟に対応している。

・給食のレシピは今後もHPから発信していく。学校運営協議会でも給食試食を行う。

・二中との連携は、授業の相互の参観等、小学校からも働きかけていきたい。

4 次回開催について

第2回開催 7月20日（火）14:00～ ミーティングルーム

内容 ・コミュニティスクールとしての取組について
・開校150周年記念行事について 他